

おいもパワー週間

10.10～10.16

サツマイモの日
は10月13日

サツマイモPR

川越市内の参加店約30店にて



- (1) 『川越おいも祭の旗』を、店頭に掲げます。
- (2) 『サツマイモクイズ』を、お客様に配布。
(後日、抽選の上、記念品をお送ります)
- (3) 『川越おいも自慢ガイド・マップ』をチラシ配布。
(チラシをみて、いろいろなおいも商品をお買い求めください)

いもの日まつり(10.13)

《いも供養》

おいもを食べて健康に!!



健康祈願の御札は3000円です。
ご希望の方はご予約ください。

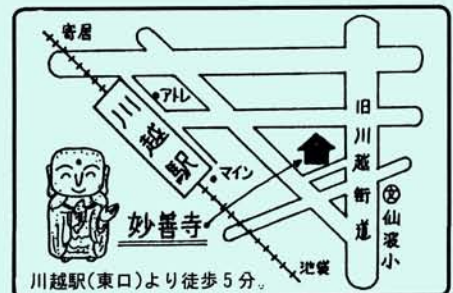
サツマイモの日(10月13日)に、サツマイモ週間の中心行事として「川越さつまいも地蔵尊」のある妙善寺にて、いもの日まつり(いも供養)を行います。あなたも、参加して健康祈願をしませんか!!

・とき: 10月13日 1:30～3:30 (参加無料)

・ところ: 妙善寺

(菅原町9-6
TEL 222-7559)

- ・内容: イモ奉納
イモ供養・法話
奉納芸能
イモ配布など



(主催)川越サツマイモ商品振興会・いもの日まつり
実行委員会

わかるかな～

九里四里うまい十三里クイズで～す



さつまいもクイズ

次の質問のなかで、~~~~の部分か正しいか、まちがっているか、
教えてください。×「サツマイモ」ミニ百科をみるとわかるヨ!!

質	問	答
1	サツマイモの原産地は、 <u>メキシコ南部から南米北部</u> である。	YES NO
2	サツマイモが日本に伝来したのは、 <u>江戸時代</u> である。	YES NO
3	関東にサツマイモを導入したのは、 <u>甘藷先生・青木昆陽</u> である。	YES NO
4	「川越いも」の産地は、川越の南に広がる畑作地帯の <u>武蔵野台地</u> である。	YES NO
5	「川越いも」は、江戸時代後期より <u>焼芋屋用のいも</u> として有名になった。	YES NO
6	現在、世界で一番たくさんサツマイモをつくらしている国は、 <u>中華人民共和国</u> である。	YES NO
7	現在、わが国の都道府県でサツマイモを一番たくさんつくらしているのは、 <u>鹿児島県</u> である。	YES NO
8	サツマイモには肉質(なかの色)が、黄色やニンジン色だけでなく、 <u>白いものや紫色のもの</u> もある。	YES NO
9	川越には、1995年(平成7年)秋に、健康祈願のための「 <u>さつまいも地蔵尊</u> 」が建てられた。	YES NO
10	サツマイモの日は、 <u>10月13日</u> である。	YES NO

ご記入の上 お出してください。後日 抽選の上、記念品をお送りします。

お名前		お電話	-	-
ご住所	〒			

サツマイモの日は10月13日…年間を通して、サツマイモの旬の時は10月。収穫が最も多く、いろいろな品種が出そろいます。また、値段も安くなります。「九里四里うまい十三里」の13と旬の10月を結びつけ、1987年に川越で全国にもむけ、宣言しました。10×13=130→I30→IMO (いも供養) その日には、川越の妙善寺にて「いもの日まつり」(いも供養)が行われます。